

# 加西市国民健康保険税条例の一部改正（議案第6号）

## 質 疑



深田 真史 議員  
(加西の新しい未来を創る政策研究会)

**問** 加西市国民健康保険運営協議会の中で、平成26年度の国保税率を仮に28%上げて、27年度には再度税率の引き上げが必要になるとのことだが。

**答** 平成26年度は15%の引き上げと1億円の繰入金で、何とか収支が確保できる状況です。協議会開催時、平成27年度は平成25年度と比較して税率32%のアップと見込んでいましたが、現在引き上げ率をもう少し下げることが可能な状況になってきています。ただし、27年度は25年度の決算状況や26年度の医療費の動向、そして、運営協議会の意見を聞き、判

断する必要があります。

**問** 法定外繰入金がないと税率を28%上げなければならない、また、繰入金が1億5,000万円だと12%、1億円だと18%の税率アップとのことだが、繰入基準と税率のバランスをどう考えるか。

**答** 法定外繰入は明確な基準がありませんが、平成25年度は前年度の急激な保険給付費の増により、基金の大半を取り崩したため、やむを得ず1億7,000万円を繰り入れます。今回、大幅な税率改正による負担緩和のため1億円を繰り入れることにしましたが、今後の繰入基準については、現在明確には申し上げられません。

**問** 被保険者の意識改革をどう考えるか。

**答** 協議会では、こども医療費無

料化によりコンビニ受診がふえており、また、夜間・休日受診の費用が高つくとの意見がありました。適正な受診をしていただけるよう、広報やチラシ等で周知し、また、特定健診による病気の早期発見・治療に努め、医療費抑制につなげたい考えです。

**問** 今後の国民健康保険事業の計画や指針が必要ではないか。

**答** 必要性は感じていますが、歳出の大部分を占める保険給付費の動向を注視し、協議会の意見を参考に運営していきたいと思えます。

### ■その他の質問項目

- ・加西市特別会計条例の一部改正（議案第10号）
- ・加西市スポーツ推進審議会条例（議案第13号）
- ・加西市学童保育園の設置に関する条例の一部改正（議案第14号）

# 精神障がい者のライフサイクルのあり方について

## 一般質問



織部 徹 議員  
(21政会)

**問** 著しい社会の変化の中で、精神的に病む方もふえているが、精神的な疾患を含め、発達障害、ADHDやアスペルガーなどの障がいのある児童生徒は、義務教育時にどのような場で、どのような教育を受けているのか。

また、義務教育終了後に就職したり、作業所に通う方の中には、職場での適応や対人関係がうまくいかない場合もあると思うが、その状況について。

**答** 加西市では担任とスクールアシスタントが連携し、障害の特性やニーズに応じた指導支

援を行っています。また、総合教育センターには発達支援アドバイザーを配置し教育相談を行っています。

普通校に通学する精神障害、発達障害とおぼしき生徒の進路は、ご家族の方からの相談がない限り把握が難しく、相談を受けた場合には、大学側などへ障害状況を連絡し、フォローをお願いしているところです。また、精神障がいのある方の中には、一般就職ができても続かず、壁にぶつかって初めて相談されるケースも多く、その場合には、就労移行支援や適性にあつた就労継続支援等のサービスを紹介しています。

**問** さくらの家、ワークらんど、こはる日和、そして、現在開設手続き中の施設もあるが、十分ではない。障がいのある方が適応でき、よりよく生かされる場所が必要だと考えるがどうか。

**答** 市内の障害者支援施設は、就労継続支援B型事業所が4カ所、就労移行支援事業所が1カ所、生活介護事業所が1カ所、地域活動支援センターが2カ所あります。また、入所施設は2カ所、グループホームが1カ所となっており、今後もこれらの事業に協力していきたいと考えております。

**要望** 障がいを持っておられる方の親御さんは、自分が先に死ぬことを心配されている。親の会である「ハトの会」も啓発に努力されているが、施設との連携も十分とは言えないため、今後とも精神障がい者の受け入れについて支援を賜りたい。

### ■その他の質問項目

- ・北条中学校の自転車通学について
- ・小学校における英語教育について